

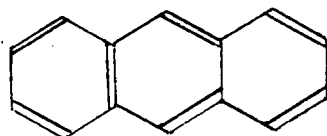
# アントラセンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和49年10月30日～昭和49年12月11日

2. 試料名 アントラセン (試料名K-74)

分子式  $C_{14}H_{10}$

構造式



## 3. 試験方法及び条件

環保業第5号 }  
薬発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による  
49基局第392号 }

### 3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

### 3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

### 3.3 生分解試験後の直接定量法

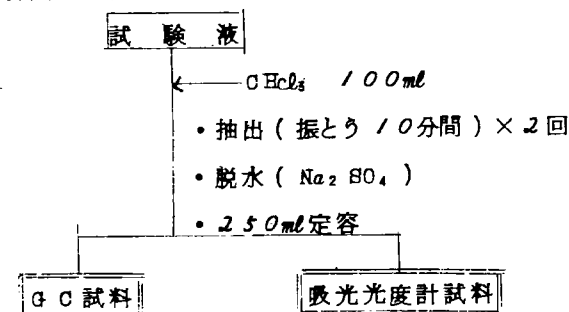
#### (a) 使用分析機器

紫外可視自記分光光度計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(以下余白 次頁に続く)

## (b) 分析試料の前処理



## (c) 分析条件

紫外可視自記分光光度計 (吸光光度計)

波 幅 300~400 nm

スリット幅 4 nm

使用セル 10mm × 10mm

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器

キャリアガス  $N_2$  1.2 ml/min

充てん剤 5% アピエゾングリースL / クロモソルブW  
80~100メッシュ

ガラスカラム 2mmφ × 2m

昇温温度 174°C → 210°C  
4分保持, 速度 3°C/min

## 4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	1.9	1	—
吸光光度計による結果	3.6	2	1
G C による結果	0.5	3	2

## 5. その他

操作上、特に問題となる点はなかつた。

以 上